

平成26年1年間(1月-12月)の事故発生状況について

北陸地方整備局発注の直轄工事

◆平成26年事故の特徴◆

- ☆平成26年1年間の事故件数は、「118件」(速報値)と過去5カ年では2番目に多い。
- ☆死亡事故は4件発生し、過去5カ年で最多。
- ☆完成工事件数に対する事故件数の割合は11%。
- ☆冬期前(10月~12月)の事故の増加が顕著。
- ☆休業4日以上(休業4日以上)の事故は14件発生、労働災害事故全体の25%を占める。
- ☆公衆災害は、地上物件損傷事故の割合が増加。

◆平成27年にむけて◆

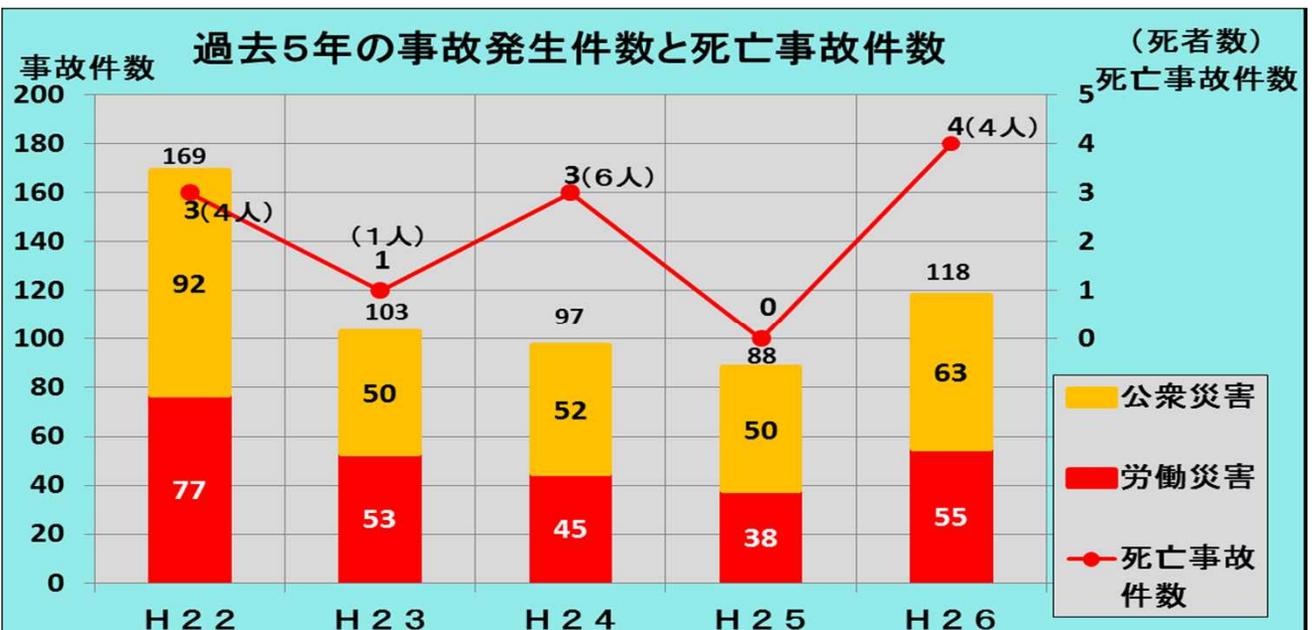
- ⇒事故件数減少にむけて、さらなる安全管理の徹底を！
- ⇒死亡災害「ゼロ」にむけて重点化を！

1. 工事事故の発生状況

1) 各年の事故件数の推移

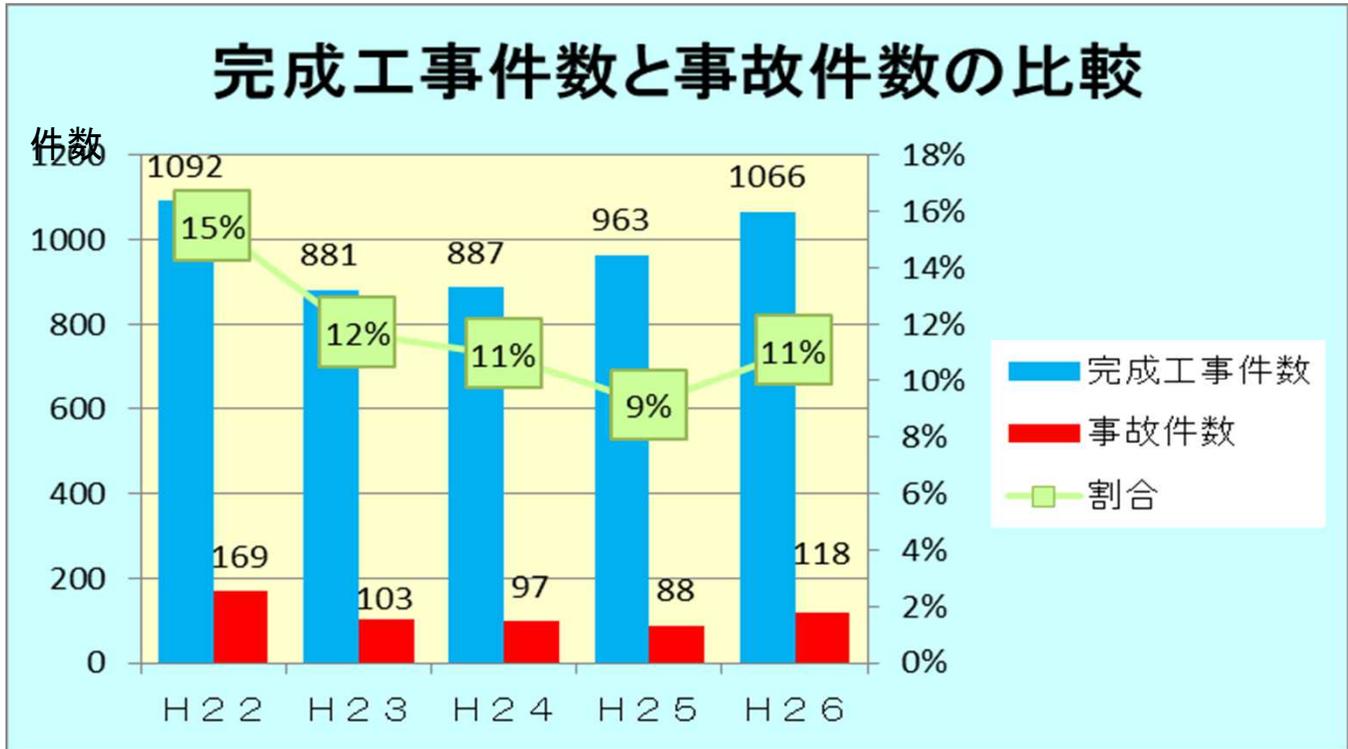
平成26年に発生した事故は118件で、昨年より3割増となり、過去5カ年で2番目に多く、死亡事故は4件で過去5カ年で最多となった。死者数は2番目に多い。

事故の内訳は労働災害55件、公衆災害63件であった。



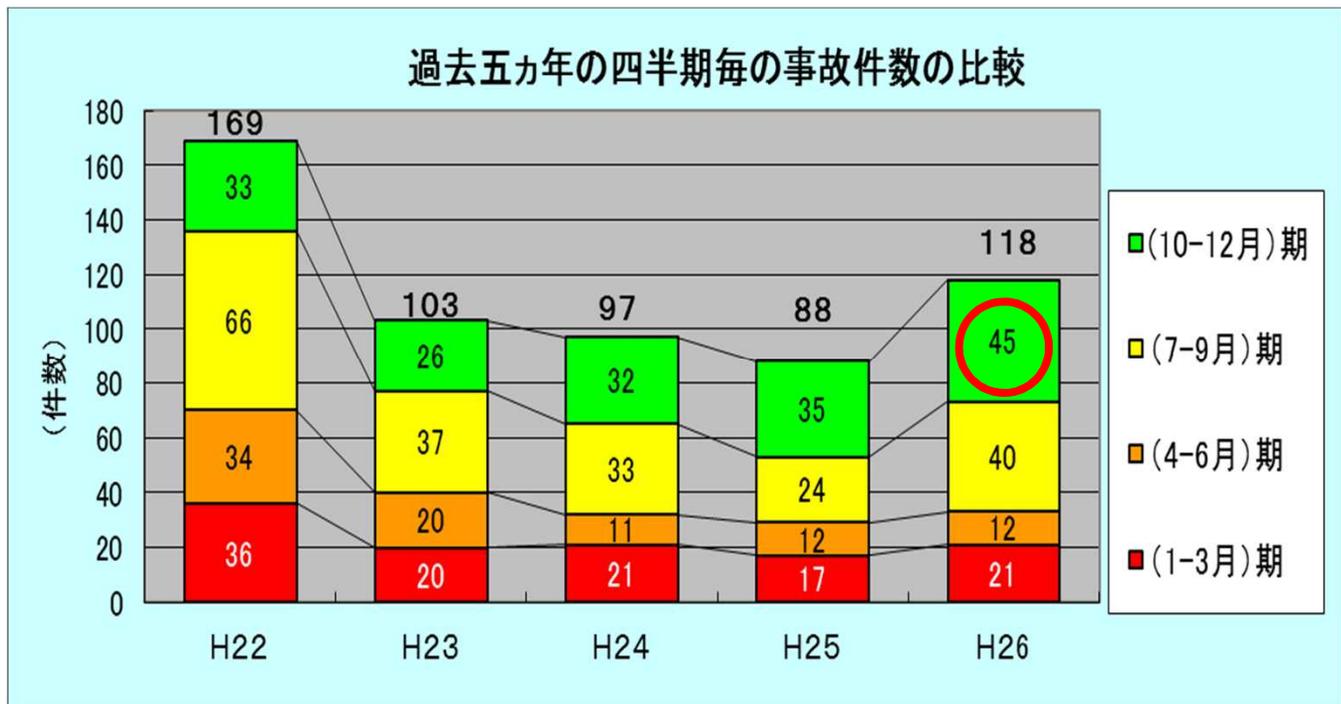
2) 各年の完成工事件数と事故件数の比較

昨年までは事故件数、完成工事に対する割合共に減少傾向であったが、H25に比べH26は増加した。但し、過去5カ年では2番目と小さい。



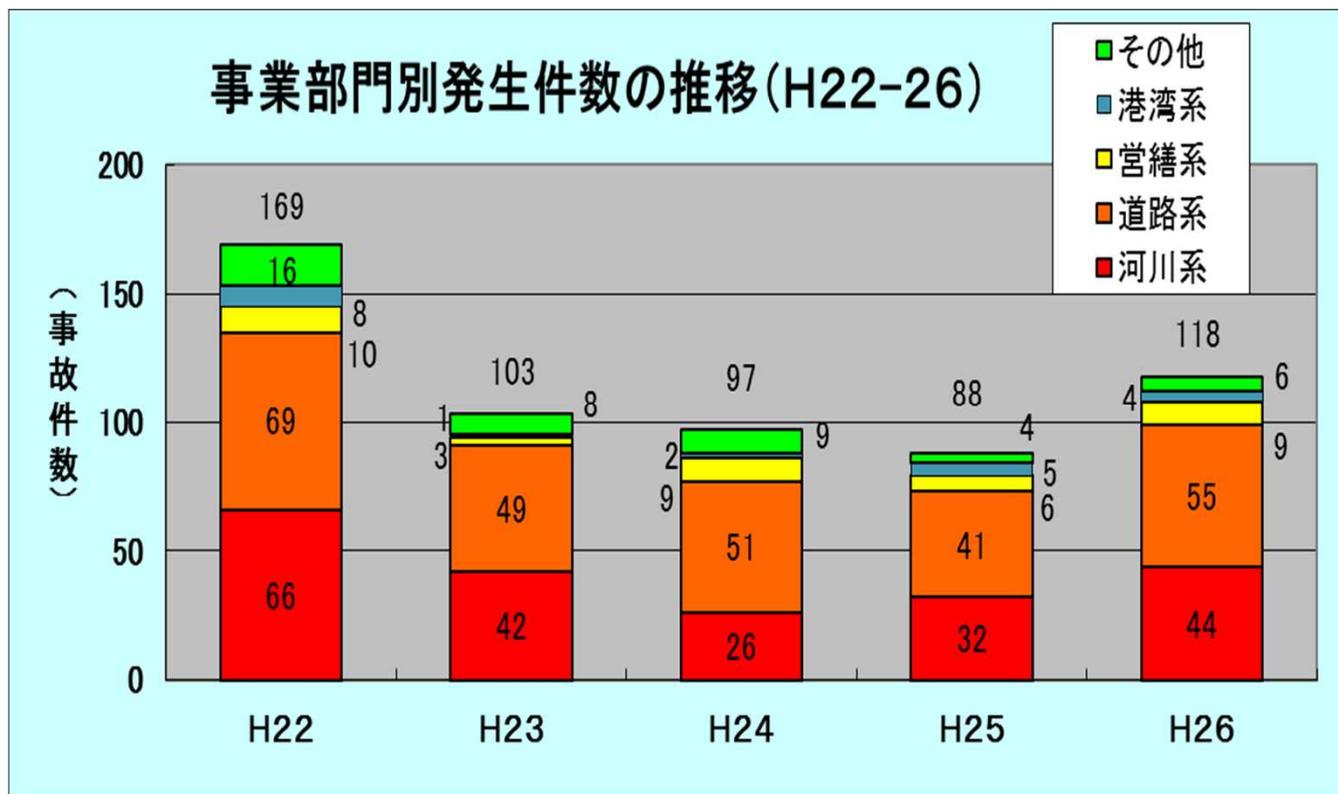
3) 各年の四半期毎の事故件数の推移

四半期毎の事故件数は、例年、夏場（7月－9月期）及び冬期前（10月－12月期）が多くなる傾向にあるが、H26は冬期前の事故件数が過去5カ年で最多となり際立っている。



4) 事業部門別事故発生件数

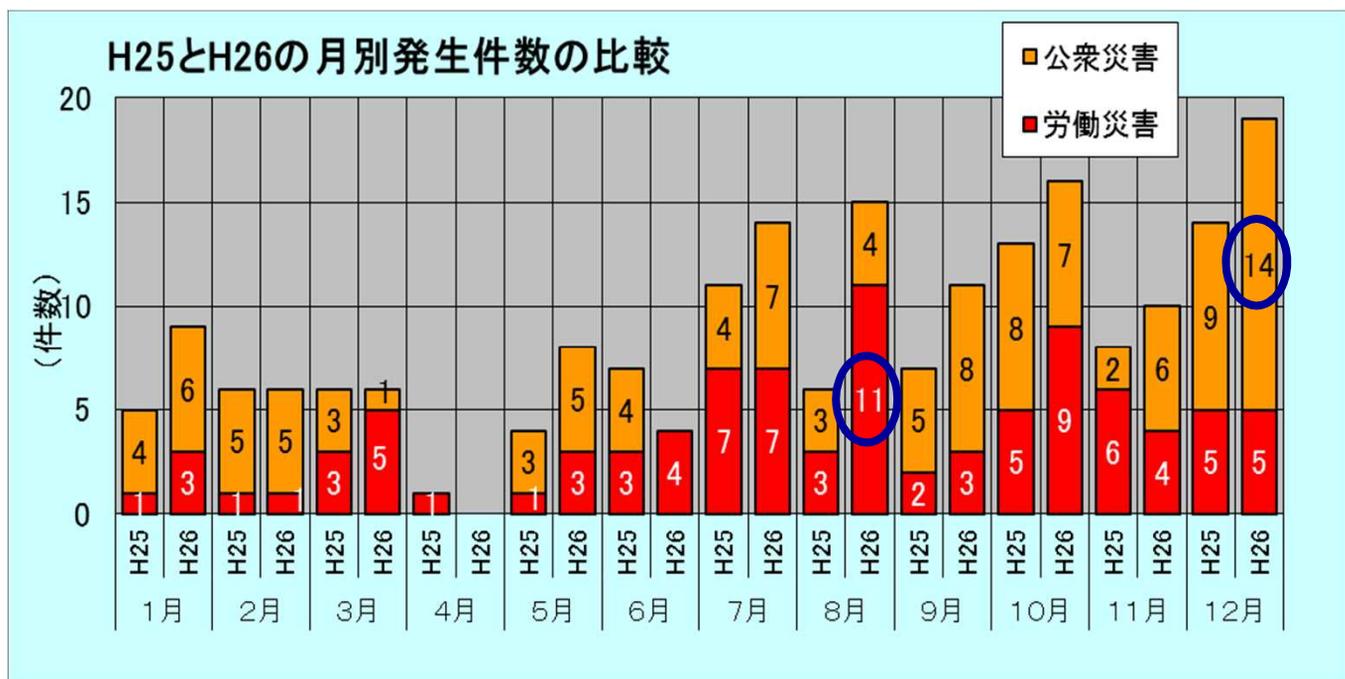
事業部門別事故発生件数のH22からH26の推移は、以下のとおりである。



5) 月別の事故発生件数

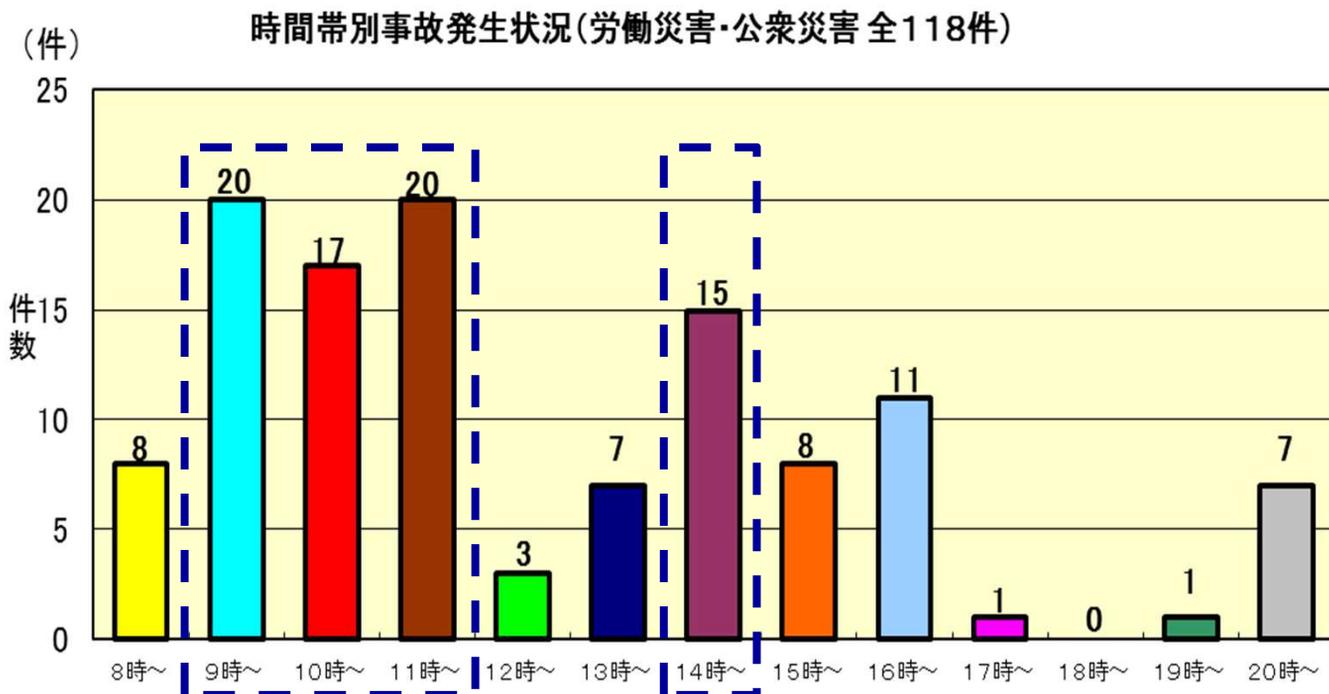
H26はH25と比較すると、7月以降12月まですべて上まわっている。

また、H26は8月の労働災害、12月の公衆災害の発生が2桁台となっている。



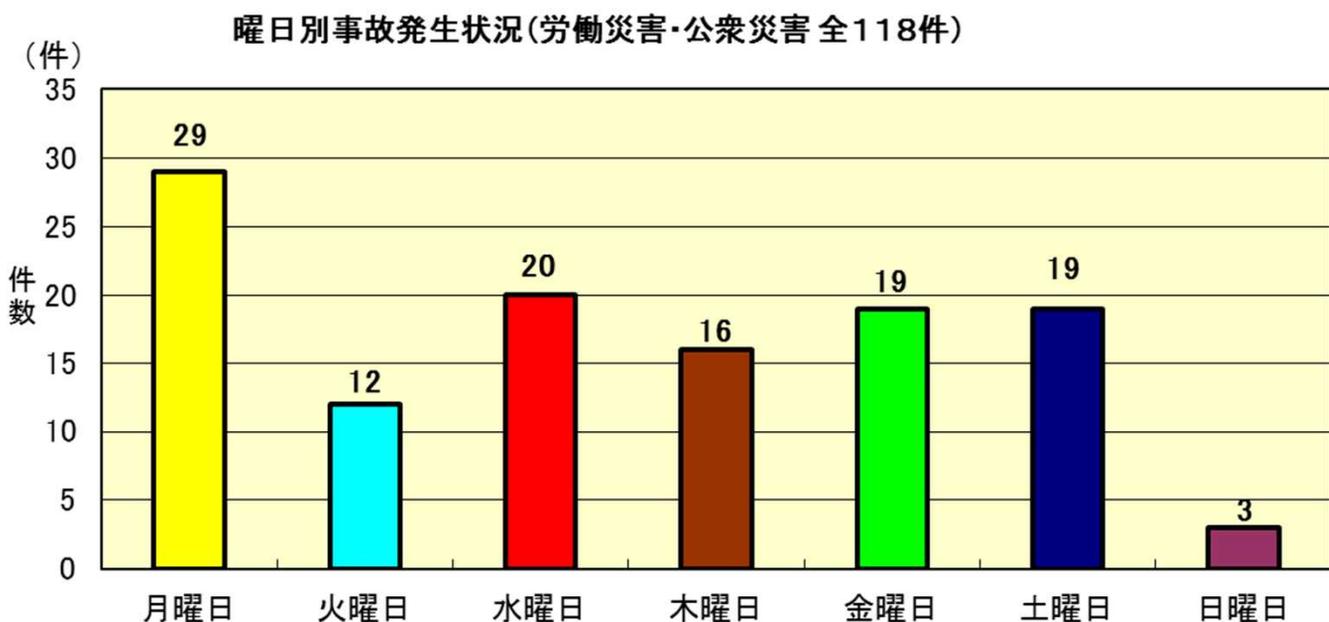
6) H26の時間帯別の事故発生件数

事故の発生を時間帯にみると、9時台から11時台の午前中が多い。
また、14時台にもピークが見られる。



7) H26の曜日別の事故発生件数

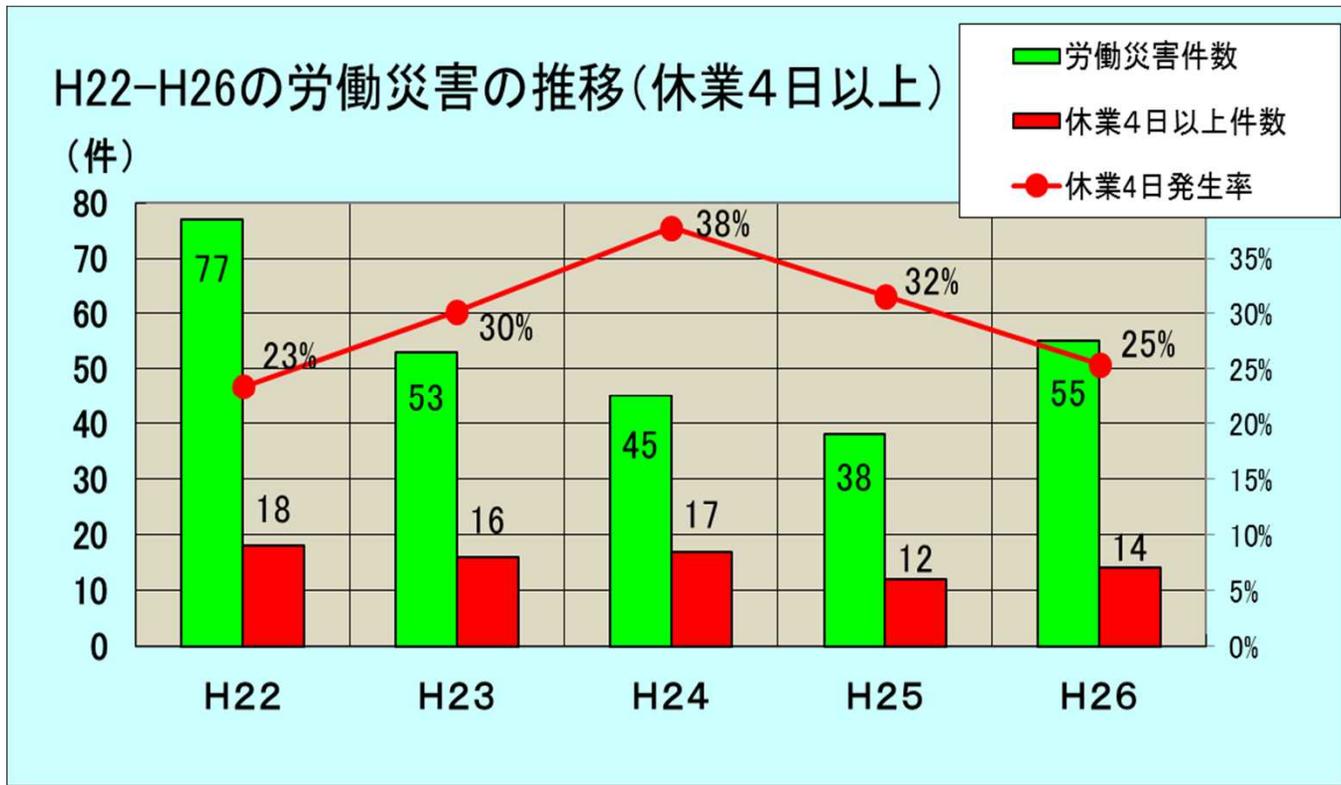
事故の発生を曜日別にみると、月曜日は29件と顕著である。
また、火曜日が少ないが他曜日は同傾向である。



2. 労働災害の発生状況

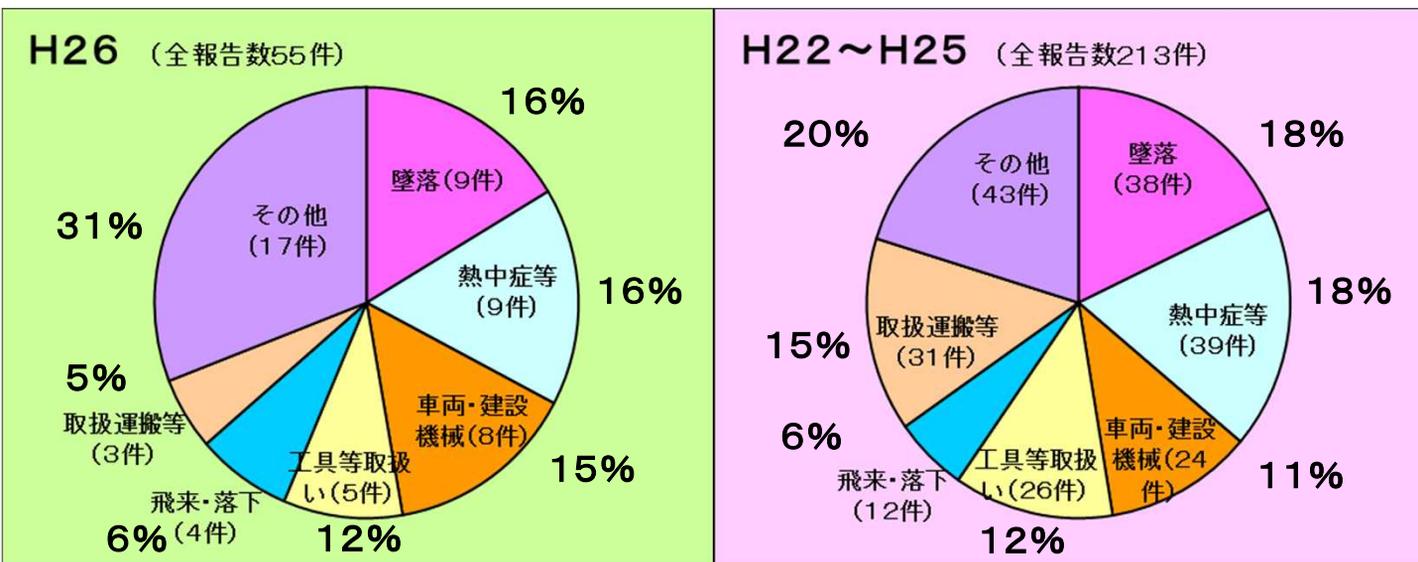
1) 休業4日以上事故発生状況

H26の労働災害事故件数は過去5カ年間で2番目に多く発生した。
休業4日以上重大事故が25%を占めたが、2年連続して減少した。



2) 労働災害の事故分類別発生割合

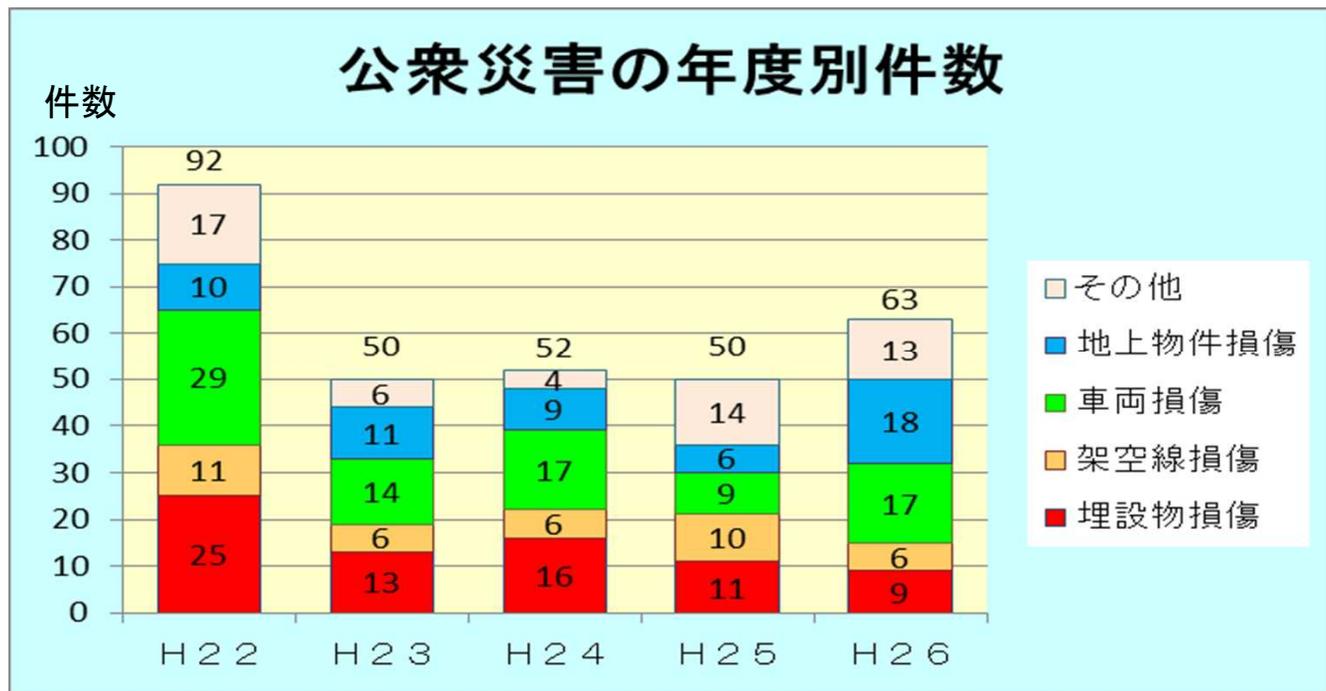
事故分類別の発生割合をH22～H25の合計と比較すると、H26はほぼ同傾向にあるが取扱運搬等の割合が低くなっている。



3. 公衆災害の発生状況

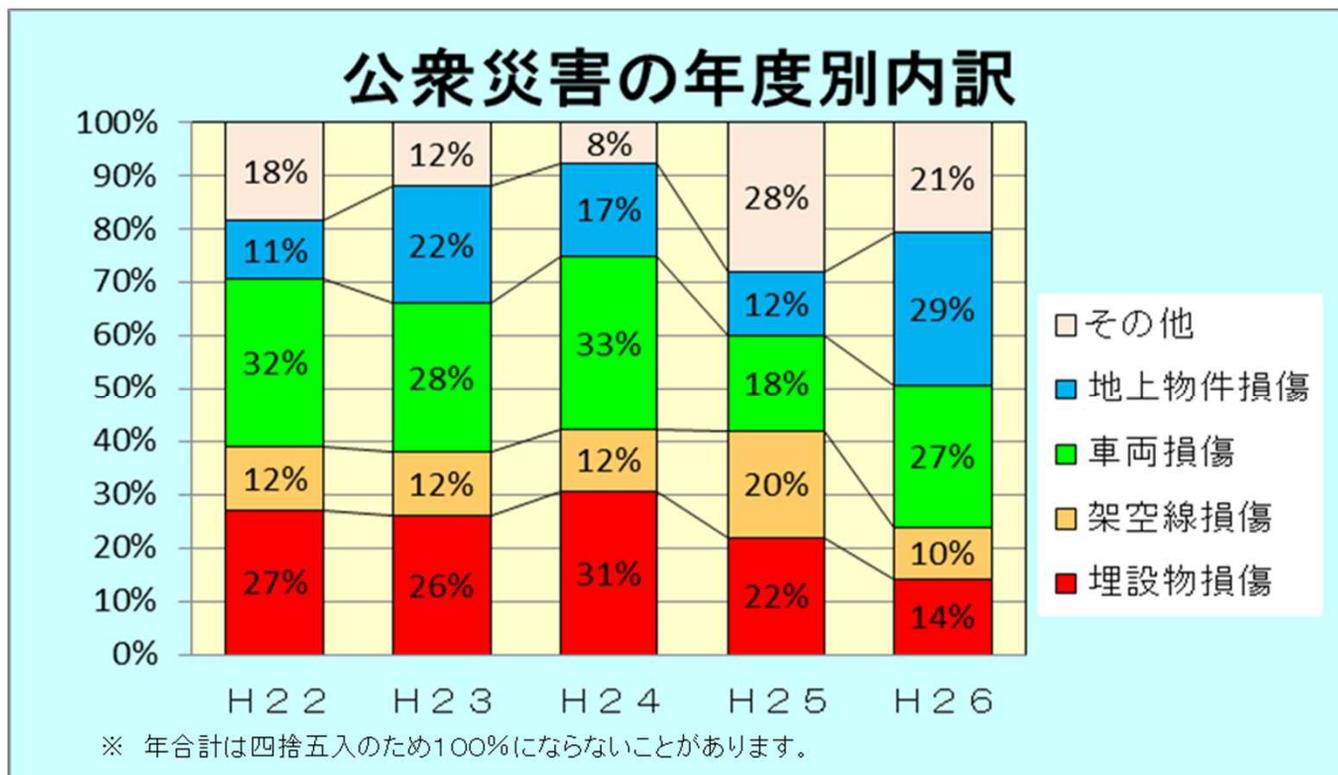
1) 公衆災害の事故分類別発生件数

H26の事故件数はH22～H25と比較すると、歩行者用信号など地上物件の損傷件数の増加が顕著である。



2) 公衆災害の事故分類別発生割合

H26は、例年多発している埋設物損傷事故の減少が見られる。しかし、地上物件損傷事故が増加し割合では過去5力年で最多となった。



※数値については速報値であるため、今後変更する場合があります。